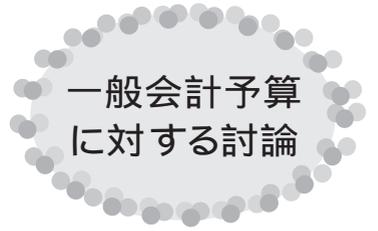


一般会計予算に対する討論・予算審査の概要



平成 17 年度予算について、市長就任後間もないことから 3 月定例会に暫定予算が提出され、第 2 回臨時会ではその補正予算、6 月定例会で当初予算を審議しました。ここでは、当初予算に対する討論の内容を掲載します。なお、予算特別委員会における暫定補正予算、当初予算の審査概要を下段に掲載します。

市民への約束や説明責任を果たせ！
無所属 森 輝雄
今回の予算は、リサイクルプラザの凍結を除けば、前市長の予算を各々減額し、継承しただけ。これなら年度当初に提案が可能だった。ことさらに市民の期待感をあおっただけで、暫定予算の期間、3 力月は意味がないものだったことになる。
保谷駅南口再開発以上に住吉公民館では説明責任が果たされていない。再開発への公民館導入で決着済みという市長の説明では市民は納得できない。実施設計済みのリサイクルプラザに比較し、公民館を除外して基本設計をした段階の住吉福祉会館を凍結しないのは均衡を欠く。市民の期待を裏切る予算には反対だ。

疑問符のつく
マニフェスト実現度
自由民主党 稲垣 裕二

市税収入は 2.6% 増であるが、基金の取り崩しは当初計画より 10 億円増額した。市長の政権公約の反映状況を見ると、小学生までの乳幼児医療費の無料化は実施せず、小学 1 年生の少人数学級は現行制度では無理、小学校の普通学級に通学する障害児の介助員制度は予算計上されず、リサイクルプラザは、用地取得済、建築確認済であるにもかかわらず、実施設計を事前に示さず修正設計費を予算計上するなど、実現度合いや手順には疑問符がつくものである。政権公約で示しているよう年間 10 億円の財源を確保し、財源なきマニフェストとならぬよう求める。

市政発展に向け、誠心誠意取り組み
市民クラブ 猪野 滋

厳しい財政環境下、行政の継続性と政権公約目標達成の予算と認識した。まちづくり、子育て支援、高齢者・障害者福祉、環境防災・地域コミュニティ、教育・文化、産業振興等の施策、政権公約の市長車廃止等、目標設定と取り組み開始予定は評価する。三位一体改革の影響により経常経費の削減に努めつつも基金を取り崩したが、基金積立が今後の課題だ。第二次行革大綱を策定実施し、生じた財源は財政健全化への補てんと新たな施策へ振り向ける視点が必要。保谷駅南口再開発は計画を守り、他の事業も市民の意見を聞き、情報公開と説明責任を果たせ。

指定管理者制度導入には慎重に対応せよ！
民主党西東京 桐山 ひとみ

坂口市長就任後初の一般会計予算である。三位一体改革の影響により市の貴重な財産である基金が減少する一方で、市債の増加により今後の財政運営は極めて厳しい状況にあり、引き続き大きな課題である。みどり保育園、北原児童館、青嵐中学校建てかえをはじめ、総合計画事業を中心に行政の継続性を維持しており、また、乳がん検診の充実、平日小児救急医療事業の実施、リサイクルプラザの建設の 1 年延伸などを評価する。指定管理者制度への移行は、公募までの間に、事業、施設のあり方を含めて十分に検討し、慎重に対応するよう要望する。

車座集会など公約を守る政治姿勢を評価
日本共産党西東京市議団 安斉 慎一郎

「三位一体改革」の影響は 20 億円余の減額。国に対し声を上げよ。
市民の所得は依然として減少傾向である。行財政改革大綱策定は「住民の福祉の増進」、情報公開・市民参加」を基本にせよ。
乳幼児医療費無料制の拡充、30 人学級、中学校完全給食、学校図書館専門員拡充などに全力を挙げよ。
知的障害者と認知症高齢者の生活療の増設、健康診査とがん検診、雨水対策工事、心身障害学級、通級学級の増設、青嵐中学校建てかえなどは市民要求にこたえたもの。車座集会、市長車廃止など公約に沿った政治姿勢を評価して賛成する。

予算審査の概要
平成 17 年度一般会計暫定補正予算

【説明】第 1 回定例会の予算特別委員会における審議経過を踏まえ、暫定予算の市民生活への影響等を考慮し、暫定期間の 1 力月延伸に伴う所要経費を計上したものの。
【主な質疑応答】
暫定補正予算提出について
もう少し慎重に判断し対応すればよかつたとの反省が残る。議会の前向きな提言に感謝申し上げる。
保谷駅南口再開発事業の見直しについて
方針決定について権利者には説明し、意見交換を行った。市民への情報提供は今後検討したい。
いこいの森公園開園式典費用について
暫定予算の趣旨にそぐわないとの指摘を踏まえて削除した。本予算への計上は検討中。

プラザ建設延期など公約実現の努力予算
無所属 土井 節子

平成 17 年度予算は、三位一体改革の影響、市税収入の伸び悩みなど、基金 36 億円の取り崩しによる予算となった。実施計画事業に加えて、市長車の廃止、「リサイクルプラザ建設の 1 年延伸」、「東大農場懇談会の設置」、「タウンミーティングの実施」、「予算編成の情報公開、財政白書作成等」を必要としないソフト施策に坂口市政の公約実現への努力が読み取れる。市長退職金減額条例も提案された。保谷駅南口再開発事業の説明責任、普通学級に通学する障害児への介助員派遣、小学校 1 年生 30 人程度学級など、残された選挙公約実現に取り組むことを求める。

市政を厳しく監視し市民要望の実現を！
西東京市議会公明党 小幡 勝己

保谷駅南口再開発・住吉公民館移転など、市長が選挙で公約した事業の見直しを撤回したことは、市民の厳しい判断にゆだねたい。
17 年度予算については、公明党が推進する、乳幼児医療費助成・所得制限の撤廃と年齢引き上げを来年度に実施、中学校給食・早期実施の具体的な取り組みスクールガードの段階的な全校配備など、7 項目の予算要望に対して、前向きな回答を得ることができた。
市長の政治姿勢を容認するものではないが、市民生活への影響を考慮し、本予算に賛成する。今後市市政に対する議会のチェック機能を果たしていく。

箱物より環境・福祉優先に生活者ネットワーク
渡辺 嘉津子

三位一体改革の影響、市税収入の低迷等で大幅な財源不足を基金で補う厳しい予算編成だ。基金も底をつき、将来にツケを残さないため、箱物建設は極力抑え環境・福祉優先、市民との協働促進が必要だ。評価点は、リサイクルプラザ建設の見直し、子どもの虐待防止協議会設置、財政白書の作成、NPO 企画事業など。今後は保谷駅南口再開発事業の説明責任、東大農場の緑を残す努力、障がい児介助員の当事者参加での制度設計、市民サービスの総点検は行政の守備範囲を定め、情報公開の徹底と市民参加で行うことなどを要請する。透明性高い市政運営を。

あの時の汗と涙を忘れずに市政執行を
自由民主党西東京市議団 遠藤 源太郎

新市長に対する期待は大きい。暫定予算 2 力月に對し市民生活への影響が指摘され、つまづいた。政策の早期実現に、はやる気持ちもわかるが、古来、親の業 3 年」と、急激な変化は必ずしも好まれない。行政の継続性を考慮し、じつくりと改革を進めるべきだ。
5% のマイナスシリーリング、13 億円もの財源不足と財政環境は極めて厳しく、市民生活への影響も懸念されるが、代表質問で明らかになった市長の政治姿勢、総括質疑で提案した 4 歳児未満医療費の全面無料化等 11 項目に前向きに取り組みという姿勢を評価し、一般会計予算に賛成する。

【結果】賛成多数で可決
平成 17 年度一般会計当初予算
【説明】予算総額 548 億 3 千 700 万円。債務負担行為は、まちづくり事業用地購入費など 24 件を設定。地方債は、みどり保育園整備事業など 14 事業、49 億 3 千 880 万円の借入限度額を予定。一時借入金の最高額は 60 億円と定める。
【主な質疑応答】
みどり保育園民営化について
業者の選定委員会は、保護者 2 名を含め 7 名で構成。書類審査の後公開プレゼンテーションを行う。守秘義務は、委託事項の仕様書に明記する。



リサイクルプラザについて中止を含めて見直すことはマニフェストに明確にうたっており、議会を軽視しているつもりはない。1 年以内に見直しさせていたいただきたい。
乳幼児医療の無料化について
足もとを再検証し、来年以降できる限り早くマニフェストの目標実施に向けて検討したい。
行政改革に関する決意について
現在のままでは 19 年度にも財政調整基金が底をつく。行政に何でもやってもらうという時代ではない。原点をもう一度見つめ直して地域の底力を発揮できるようにしたい。
産業振興検討懇談会について
（仮称）産業振興条例について検討いただくことを目的として設置する。大型店舗全国チェーン店の商店会への加入の促進、空き店舗対策、拠点施設の整備などについても投げかける。
いこいの森公園の記念式典について
公園をつくるに当たってお世話になった方々へのお礼、ボランティア活動の市民への周知を内容としたい。日取りは未定だが秋口までに行いたい。
普通学級に通学希望する障害児への介助員配置について
基本的には教育委員会との合意が必要。適正就学等の検討、コーディネーター、ボランティア等の問題がある。他市等の調査研究が必要。
【結果】賛成多数で可決